

## 第18回真鶴町地域公共交通会議概要

日時：平成31年2月25日（月）10：30～11：20

場所：真鶴町町民センター第2会議室

出席者：委員19名（欠席1名、〇〇委員）

傍聴者：1名

### 1 開会

### 2 議題

#### （1） デマンド交通実証実験の中間報告について（報告）

○資料1を用い、事務局より報告。

岡村会長・・・湯河原町でもやっているところでもあり、色々な取り組みは県内でもやっているというふうには聞いている。場所によって違うが、なかなか利用の方が予約をして、400円を払ってまで利用される場面が少ないような所もあり、逆にそういう移動を本当に欲していた方の多い地区もあるところで評価が難しいが、とにかく3月15日までは、まずは様子見というよりも、使っていただきたい方にはぜひ、お声がけを皆さまにさせていただいてというところですよ。

#### （2） 地域公共交通再編実施計画の改定について（バス停の新設、時刻表の変更：審議）

○資料2を用い、事務局より説明。

小堤委員・・・認可運賃に変更はないか。また所轄官庁の確認や地権者の承諾は得ているのか。

事務局・・・認可運賃に変更はない。所轄官庁（警察、土木事務所）とは調整中。地権者との件については、（バス停は道路上のため）必要が生じれば対応していく。

小堤委員・・・本日の会議で本案件は審議という位置づけだが、この場で了解を得られたあとに各所と調整・確認するということか。

事務局・・・お見込みのとおりで、最終のところの確認させていただく。

猪狩委員・・・東海道線については3月16日にダイヤ改正がされ、1、2分単位の若干の時刻変更がある。バスダイヤに考慮願いたい。

岡村会長・・・改めましてこの改訂について特にこのバス停の新設および時刻表の変更について、ご承認いただくということよろしいか？

—— 承認 ——

### (3) 駅周辺地区構想検討会について（報告）

○資料3を用い、事務局より説明。

岡村会長・・・これは検討中であり、公共交通との関連でいうと、駅周辺ですが、駅の用地内にあるロータリーも当然兼ねることなのかなと思う。なかなかこの資料だけでご意見をというのもちょっと難しいところではあるが、今のところで事情をご存じの方もいらっしゃるかと思うので、何かご意見あれば。

藪田委員・・・今、真鶴駅前交差点は、小田原方面から来る車が結構突っ込んで来る。一番危ないのは、小田原方面から来たときに早めに左折のウィンカーを出すと、湯河原から来る右折の車と衝突してしまう可能性があること。もう一つ、隧道が車で通れるようなことをうたっているように見えるが、実現性はあるのか？

事務局・・・今のところ町の計画では将来的な利便性向上としてうたっているが、財政の裏付けがあるわけではない。

委員・・・隧道の上に鉄道のレールが敷いてあり、今より倍の広さにしないと、最低でも車が左右を走れないと思うが、それをするには長さに強度が問題。やった場合に今度鉄道が走れなくなった場合、問題になるので、その辺の強度を含めて試算してから検討に入ってもらいたい。

岡村会長・・・別の構想検討会も状況一部は聞いている。造れば想定よりもかなりのお金がかかるので、そのお金で何か他にできるのではないかという話は当然この検討会でも、いろんな意見は出ているし、前提とせずぜひ欲しいようなところも含めてやっている。

事務局・・・検討会の中でも実際に隧道拡幅するのではなく、国道等をまたぐ（跨線）橋みたいなのをかけた方がとの意見も出ているが、そこはお金の問題もあり、町の方針も関係してくるので、計画の中でも慎重に検討していきたい。

青木委員・・・小田原から湯河原へ抜けるのに、信号の交差点の長さが把握できないため、信号については、時差式になるべく早くしていただければ結構スムーズに行けるのではないか。

事務局・・・計画の中でもその話は出ているが、警察の方が検討している事項で、総合的に考えなければいけない。そういう声も例えば住民説明会の中でも、様々なご意見はいただいている。

岡村会長・・・構想検討会では、なかなか用地が取れるのかなど様々な意見が出ているが、ロータリーの中も含めていろいろ検討することになろう。かなり技術的な話ではあるので、地区構想検討会っていうのは交差点の中に留まらない、駅前どんな雰囲気にするのとかそういうところも含めて、いろいろ考えていく中で同時に多分交差点は解決していく話ではと私は思う。今日のところはよろしいですか。では、あとはその他ということで、事務局いかがでしょう。

事務局・・・ありません。本日はお忙しい中ありがとうございました。それではこれで地域公共交通会議を閉会させていただきます。

(了)